

決議案第1号

TPP交渉について

別紙のとおり決議案を提出する。

平成25年3月14日提出

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 提出者議員 | 伊 | 澤 | 幸 | 信 |
| 賛成者議員 | 篠 | 原 | 藤 | 雄 |
| 〃 | 堀 | | 孝 | 行 |
| 〃 | 宮 | 下 | | 透 |
| 〃 | 古 | 石 | 英 | 仁 |
| 〃 | 牧 | 田 | 滋 | 昌 |
| 〃 | 大 | 坂 | 龍 | 起 |
| 〃 | 酒 | 井 | 和 | 子 |
| 〃 | 上 | 田 | 久 | 司 |

TPP交渉に関する決議

TPP交渉への参加は、農業ばかりでなく、医療・社会福祉、金融・保険、労働市場などに及び、我が国の産業・経済・社会の根幹を揺るがす重大な問題であり、国民の重大な関心事である。

特に、本道農業は我が国最大の食料供給地としており、加えて岩見沢地域農業として、その一翼を担い、専業農家を主体として良質な農畜産物を安定的に供給してきており、今後とも国の食料安全保障において主体的な役割を果たしていかなければならないが、耕地面積や社会条件等が大きく異なる米国や豪州などの農産物輸出国との競争力格差は極めて大きく、重要品目の関税が撤廃された場合は、本道の農林水産業とそれに伴う関連産業の継続が困難となり、自然環境と地域社会の崩壊が懸念される。

しかしながら、国の情報提供は極めて不十分で、議論をすることすらできない状況であるにもかかわらず、交渉参加を判断しようとすることは許されない。

よって、岩見沢市議会は、地域社会や経済・雇用などに取り返しのつかない甚大な影響が生じるTPP交渉への参加を行わないよう断固反対するものであり、国はこのことを重く受けとめ、毅然と対応すべきである。

以上のとおり決議する。

平成25年 3 月 日

岩見沢市議会

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
農林水産大臣
外務大臣
経済産業大臣